



# おさんぽ会報



<https://npo-osanpo.org/>

No. 32 2025年3月31日 NPO 法人おさんぽ発行



会員の皆さん、お元気でお過ごしでしょうか？

最近では異常気象で日本らしい四季が感じられないですね。

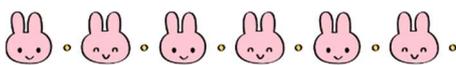
2024年の酷暑続きには「プールあそび」をするにも一苦

勞。熱中症警戒アラートが毎日のように出る中、あれやこれやと工夫をきかせて大好きなプールも続けてきました。今年度も子どもを真ん中に、子どもの気持ちに寄り添いながら保育しています。

リーフレットの内容を少し変えて新しくしました。清洲なのhana保育園の特徴に『インクルーシブ保育』を記載しました。インクルーシブ保育？と聞きなれない方もいると思いますが、インクルーシブ保育とは、障がいがあるなし・国籍・年齢にかかわらず、すべての子どもと一緒に保育を受けるスタイルです。最近よく使われる（推奨される）ようになりましたが、うちの保育園が昔からやっている「みんなの子どもをみんな育てる」理念と土台は同じ…外国人だから～とか、障がいがあるから～とか、大きいから、小さいから～とか隔たりをもつことなく、子ども達がお互いの個性を自然に受け入れ、ぶつかり合い、助け合いながら共に育ちあえる保育を、職員一同努力して続けていきたいと思っています。今後も暖かく見守り、応援していただけると嬉しいです。皆様の変わらぬご支援とご協力、大変感謝しております。



園長 竹市光代



## 保育園だより



★昨年度から始めた「より子ども主体の保育」を目指して日々保育に取り組んでいます。自由の幅を広げれば広げた分、子ども達はとても自由に活動し保育士達は四苦八苦、試行錯誤の毎日（笑）。いやなことはいや！やりたいこと、やりたくないことを伝え、自分で選択して決めることができる子に育ててほしい、それが大切なことだと考えています。「子ども主体の保育」が、そこに大きく影響してきます。

★今年度の年間親子行事は、予定通りすべて行われました。5月の「親子農道散歩」、8月の「夏まつり」、10月の「運動会」、11月の「親子遠足」、3月の「卒園式」・・・どれも子ども達、保護者、兄弟姉妹、そして保育士達も一緒に楽しむことができました。みんなで繋がって、子ども達の成長をみんなで共感できるととても大切な時間です。



★今年度から、近くの特別養護老人ホーム『清洲の里』との交流会をもつことになりました。7月と3月には、清洲の里でおじいちゃんおばあちゃんの前で、歌や手遊び、体操を披露したり、先日は「大きなかぶ」の劇もみてもらいました。「かわいいねー」とたくさんの拍手をもらって、子ども達も嬉しそう。おじいちゃんおばあちゃんも喜んでくれました。来年度も続けていきたいです。



★「食育活動」にも継続して力を注いでいます。子ども達も職員も一緒に楽しむ「食育活動」です。今年も野菜作り、玉ねぎとさつまいもの収穫体験、クッキングそして今年からはじめた「ルッキング」。「ルッキング」では子ども達の前で実際に調理してみせます。苦手なおかずも食べてみよう！と思えるように始めましたが、結構な手ごたえあり…です。来年度は何をやるかとワクワクしています。